

佐久穂町地域おこし協力隊 活動報告会

常田圭一郎

はじめに

資料掲載場所

佐久穂町ホームページ

佐久穂町役場総合政策課で資料手渡

質問方法

メール、Facebookのコメント

Facebookのメッセージ

活動任期

2017年7月1日～

2020年6月30日

活動任期に佐久穂町の出来事

2017年佐々木勝町長就任

2018年高野町で大火事

2019年山火事発生

大日向小学校開校、台風19号

2020年新型コロナウイルス発生中

次第

- ・ 協力隊活動報告 家編
- ・ 協力隊活動報告 IT編
- ・ 常田と地元の関わり方

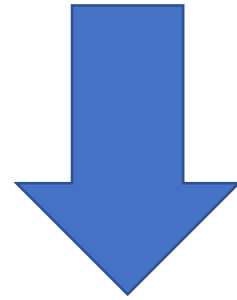
協力隊活動報告 家編

地域おこしとは

- ・空家を活用すること（空家対策）
- ・若い人を呼び込むこと（移住対策）

空家を活用すること

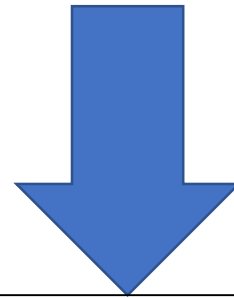
- ・東京のマンション高いなあ。
- ・佐久穂町に使っていない空家が沢山ある。



空家を資産として活用できないか。

若い人を呼び込むこと

- ・ 仕事をする（現役世代）を呼び込むことで、地域と経済を活性化。
- ・ 移住を促進する。



大きなハードルは住居と仕事の提供

空家対策 + 移住対策

空家を資産として活用できないか。



大きなハードルは住居と仕事の提供



今ある空家を活用して、これから来る若い人に住んで貰えば良い。

空家を活用する活動

2017年 黒澤住宅 古民家リフォーム

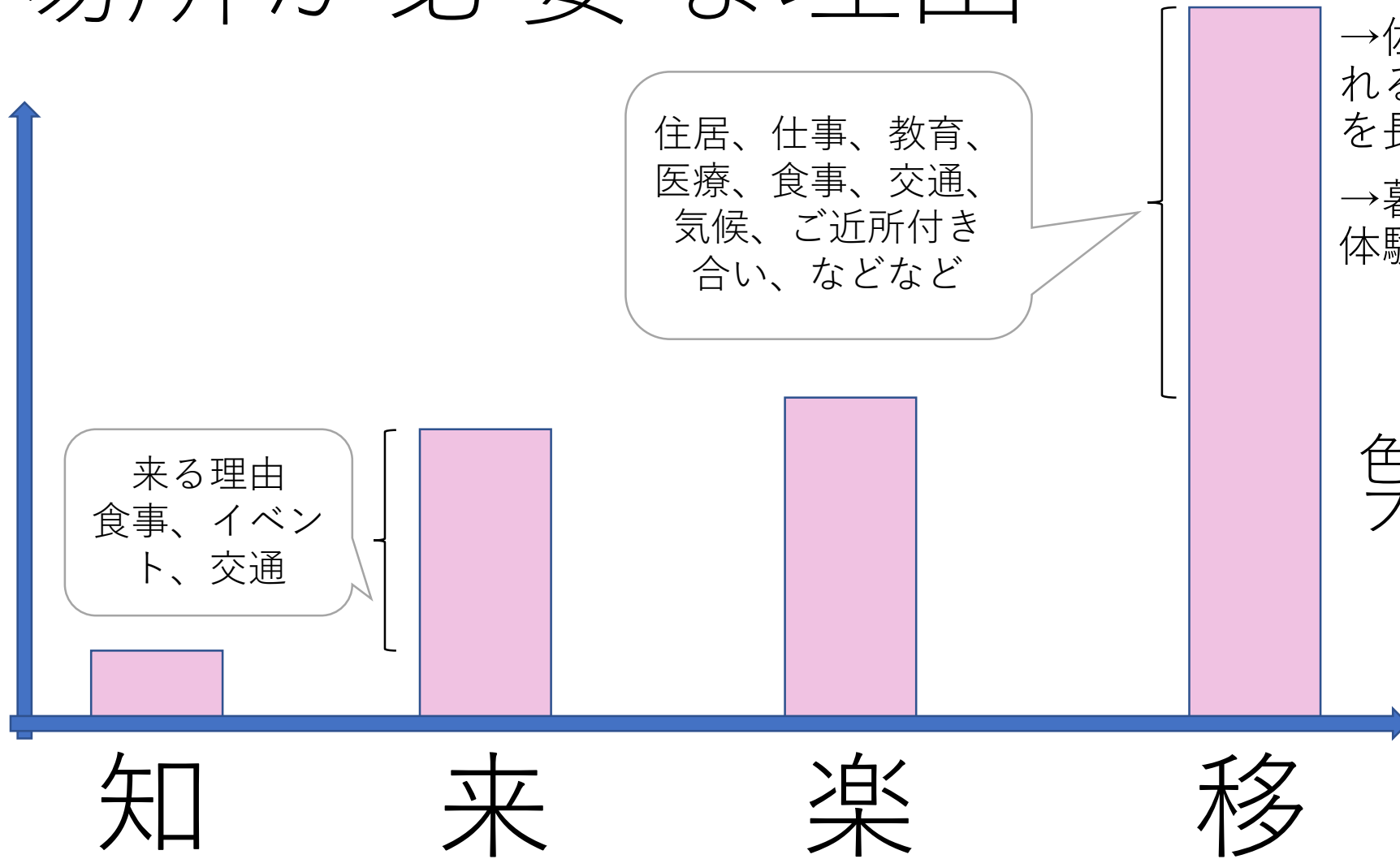
2018年 内津亭 整備（イベント・宿泊）

2019年 高野町ハウス リフォーム
整備（宿泊）



宿泊場所が必要な理由

難易度
ハードル



→佐久穂町に訪れる回数と時間を長く取る。
→暮らしの模擬体験をする。



色々なタイプの宿が必要

移住までの段階

黒澤住宅

八千穂駅近くの黒澤酒造所有の新宅

木造2階建ての古民家

2年先輩の協力隊金子さんに誘われる

伝統的な家造り（木、紙、土）

大工作業をやってみる

黒澤住宅写真



着手当時



根太はり

黒澤住宅写真



土壁塗り



土壁の材料採取

黒澤住宅分かった事

家と生活が循環している。

古民家のご近所と協働が大事。

古民家を冬でも住めるようにするのは
はすごく大変。

大工さんの品質とスピード。

工具の基本的な使い方。

内津亭

崎田にあるリフォーム済みの古民家
高見澤勝幸さんと縁あって整備開始
佐久穂で暮らしてみたい人向けの宿
2階は広い空間でイベントスペース
Airbnbを活用した宿運営を開始
現在は休業中

内津亭写真



玄関



室内 1 階

内津亭写真



2階に並べたお皿



イベント

内津亭写真



お餅つき大会

内津亭分かった事
ご近所に迷惑がかからないように。
地元の人がいる強さ。
宿泊業の運営。
軽井沢も佐久穂も一緒。
佐久穂町の雨の日の観光の弱さ。

高野町ハウス

自分一人でリフォーム。

できるだけ壊さない。

クオリティにこだわらない。

それでどこまで綺麗になるか。

宿泊は休業中。リモートワークの場所として提供する予定。

高野町ハウス写真



外観



玄関

高野町ハウス写真



ダイニングテーブル



仕事環境の充実化

高野町ハウス分かった事

木の床、白い壁、汚いところは隠す。
電気と吹き抜け、とにかく明るく。
思い出は捨てられない。
家が変わっていくと、なんとなく悲しく。。

家の活用を経て

空家は活用できる。

お金か時間がかかる。

育った家はいつまでもホーム。

家には思い出がいっぱい。

集落の中に家がある。

空家活用と移住対策は一挙両得にできる？

空家の捉え方が異なる

活用者にとって

眠っている資産

所有者にとって

大事な思い出

ご近所にとって

放置されると不安、けど

今、こここの考え方

空家を活用する → 移住が促進する
(空家を活用されない ← 移住が促進されない)

安易に結び付けをするのは良くない。

空家がある事で困ることは何か。

所有者、ご近所、行政、などなど

協力隊活動報告 IT編

IT編 やってきた事

情報発信

SNS (Facebook, Instagram, Twitter)

ホームページ作成

→ ブログ、youtube、テイクアウト

情報の掲載

IT活用の必要性

- ・ 台風19号の被害
収集する能力と発信する能力
- ・ 新型コロナの被害
コミュニケーション方法の変化
作業場所に縛られない働き方

台風19号

Twitterで鮮度がある情報発信
出されている情報を見つける

写真と地図との結びつけ (QGIS)
できるだけ早く収集と発信

新型コロナ

報告会ができない→情報発信方法の
変化→動画を作成する技術
自宅の仕事環境を整備

コミュニケーション方法の変化
場所と時間に囚われない仕事の仕方

高野町ハウスの変更

自宅で仕事ができない人向けのワークスペースとしての利用。

快適な仕事環境の整備。

- ・回線の充実
- ・広い机、疲れのない椅子
- ・仕事もできる泊まれる場所

これからやりたい事

短期仕事としての切り出しと外出しの準備を手伝っていききたい。

慢性的な人材が不足

→ 長期人材を補充する事は難しい。

これからやりたい事

作業時間、作業場所を選ばない仕事
であれば、できる人はいる。

→仕事の外出し準備をすることで、
人が現れた時に対応できる。

→在宅勤務、テレワークへの対応に
も繋がる。

これからやりたい事

< 注意点 >

仕事の外出し = 新しい仕事が発生

- 手順書の作成
- 進捗管理
- 品質確認

これからやりたい事

外出ししやすい仕事から。

ホームページの更新、事務的な作業

ITとの親和性が高いもの。

常田と地元の関係り方

自己紹介

常田圭一郎 34歳 (1986.03.11)

妻 子供 (6歳、4歳)

野沢北高校 バスケット部

群馬大学 社会情報学部 バスケット部

TDCソフト(株) バスケット部

会社員時代

全銀システム (2008.7～2012.3)

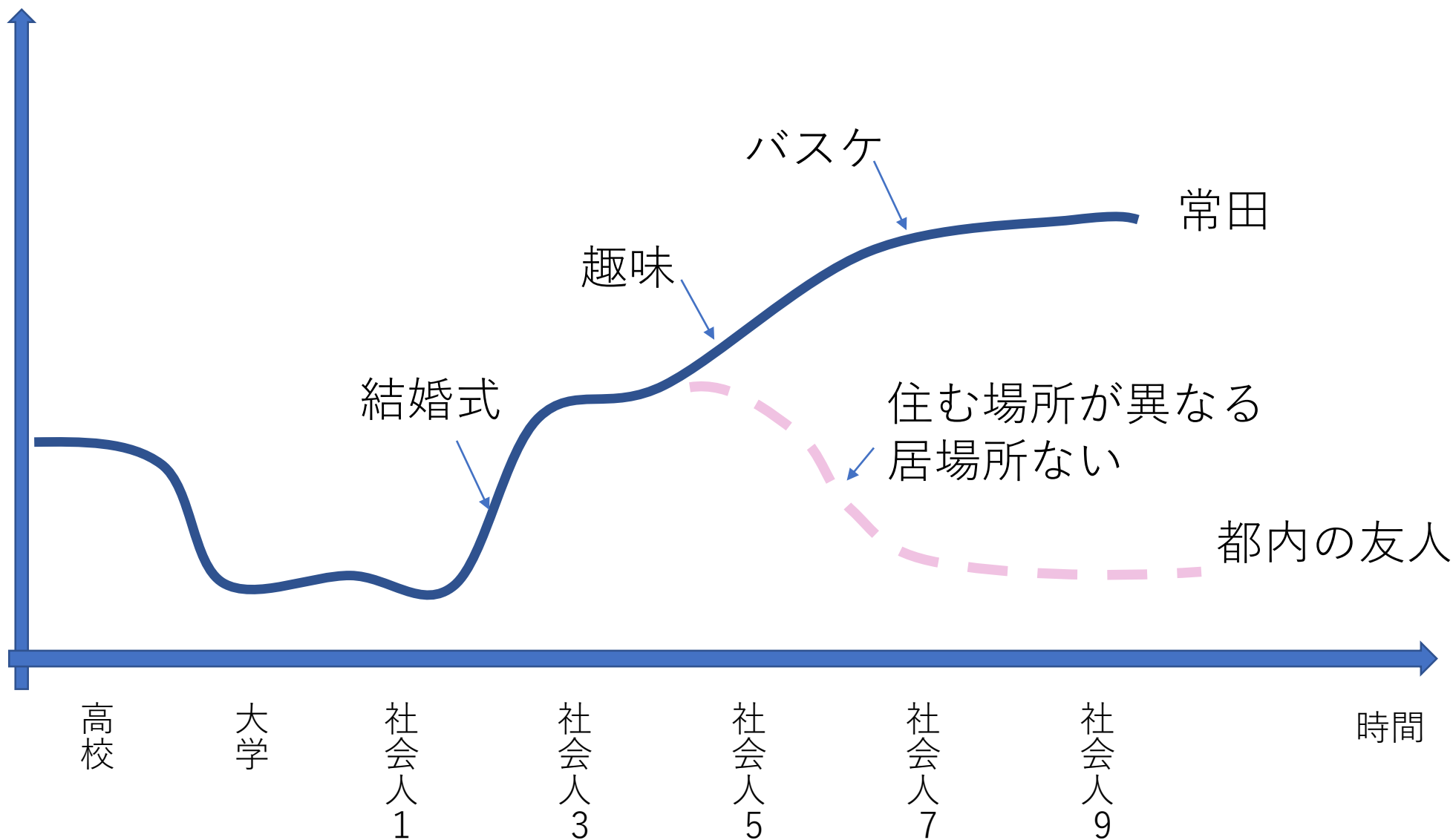
管理本部 経営企画部 (～2013.9)

クレジット会員Webシステム開発
(～2015.8)

某銀行次期システム開発(～2017.6)

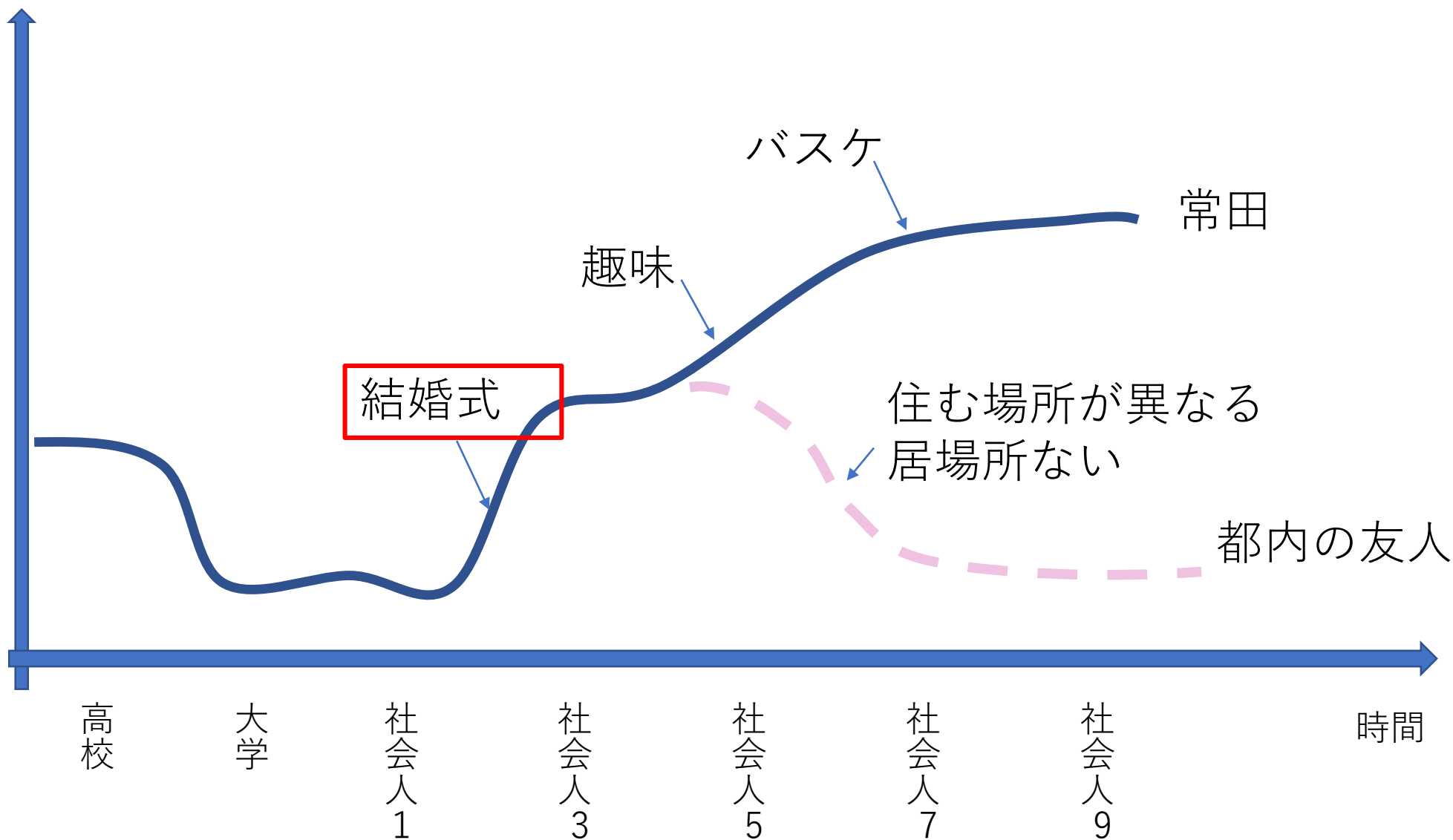
常田が地元を思う頻度

アイデン
ティティ



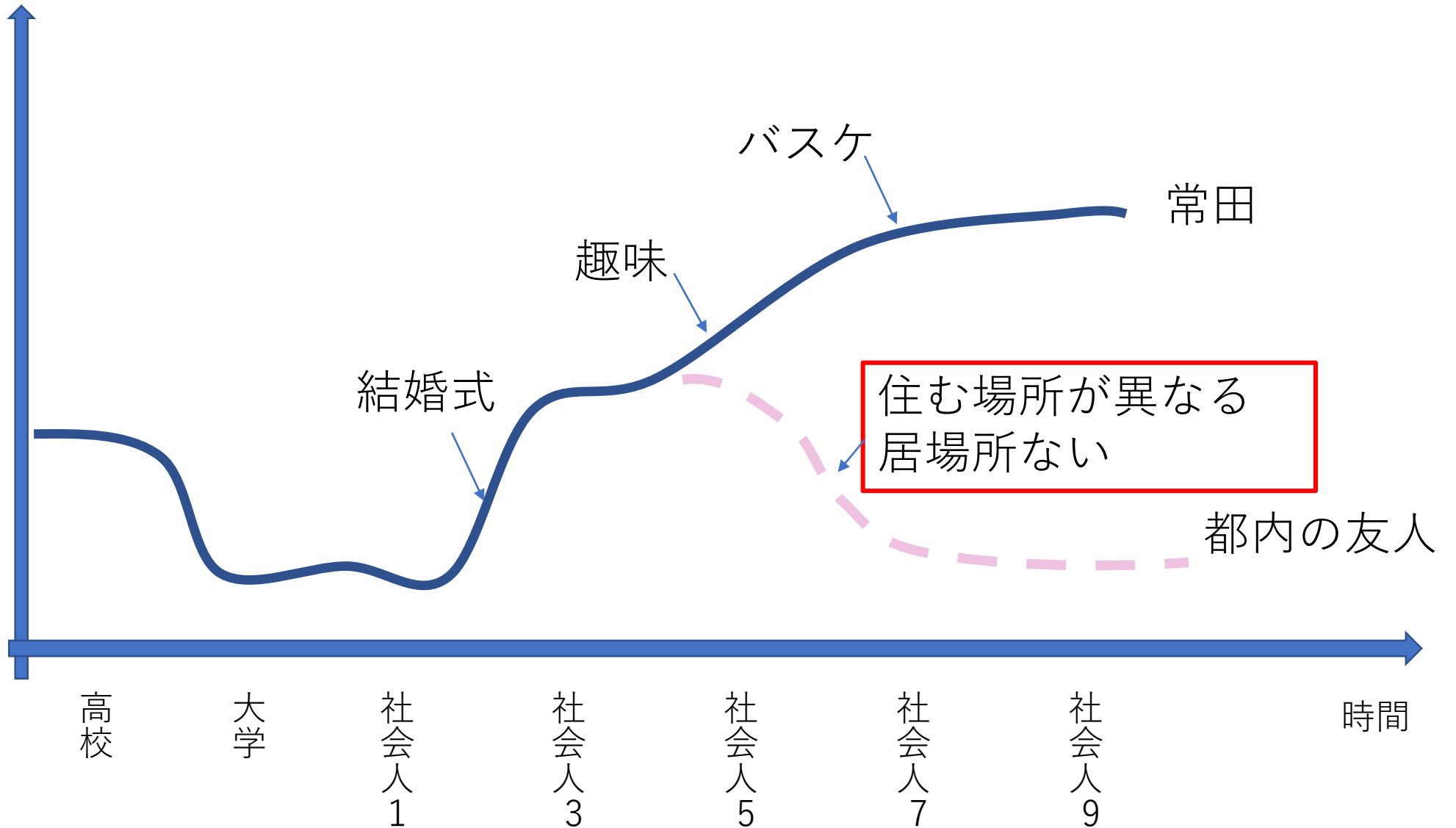
常田が地元を思う頻度

アイデン
ティティ



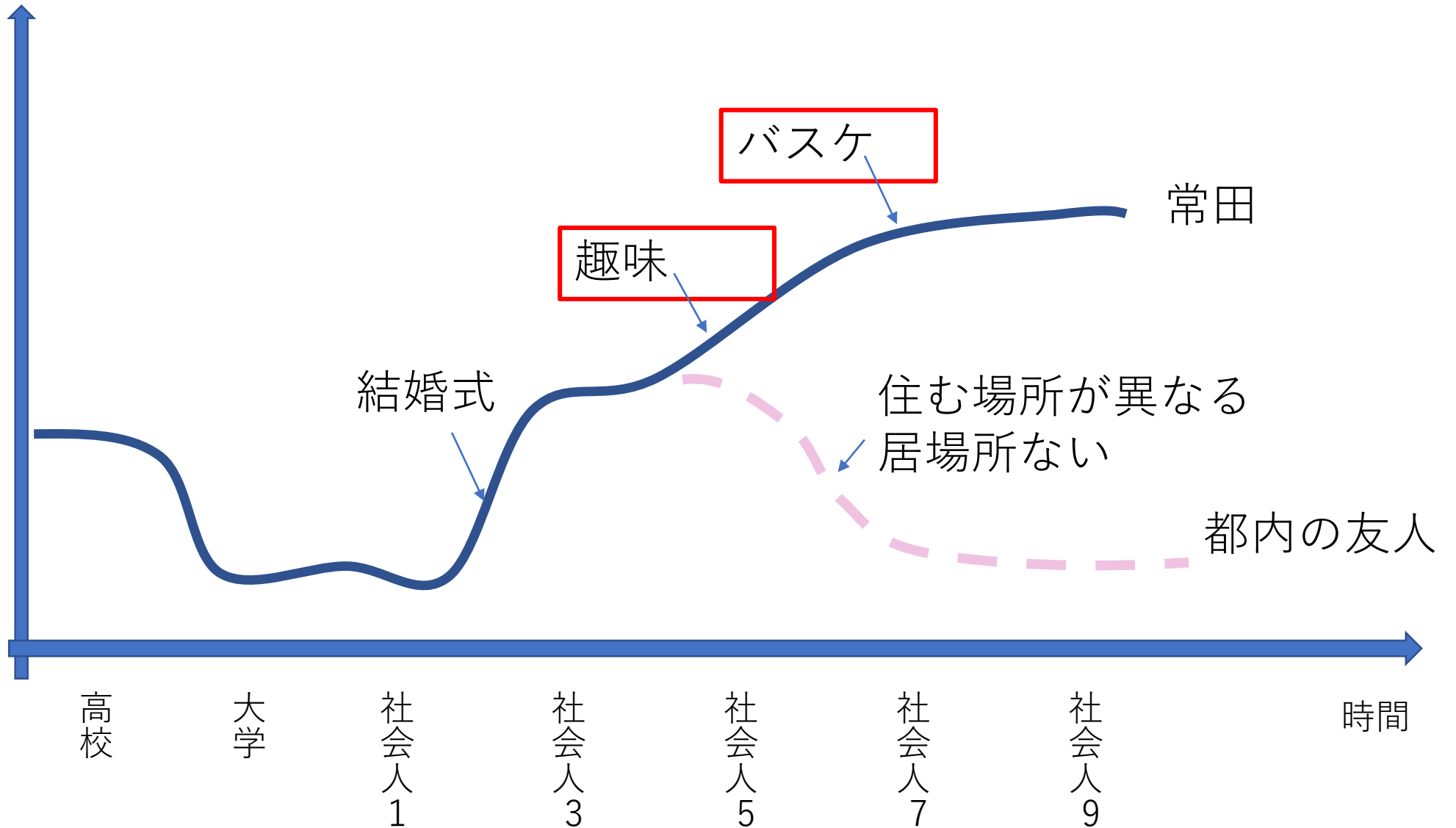
常田が地元を思う頻度

アイデン
ティティ



常田が地元を思う頻度

アイデン
ティティ



写真



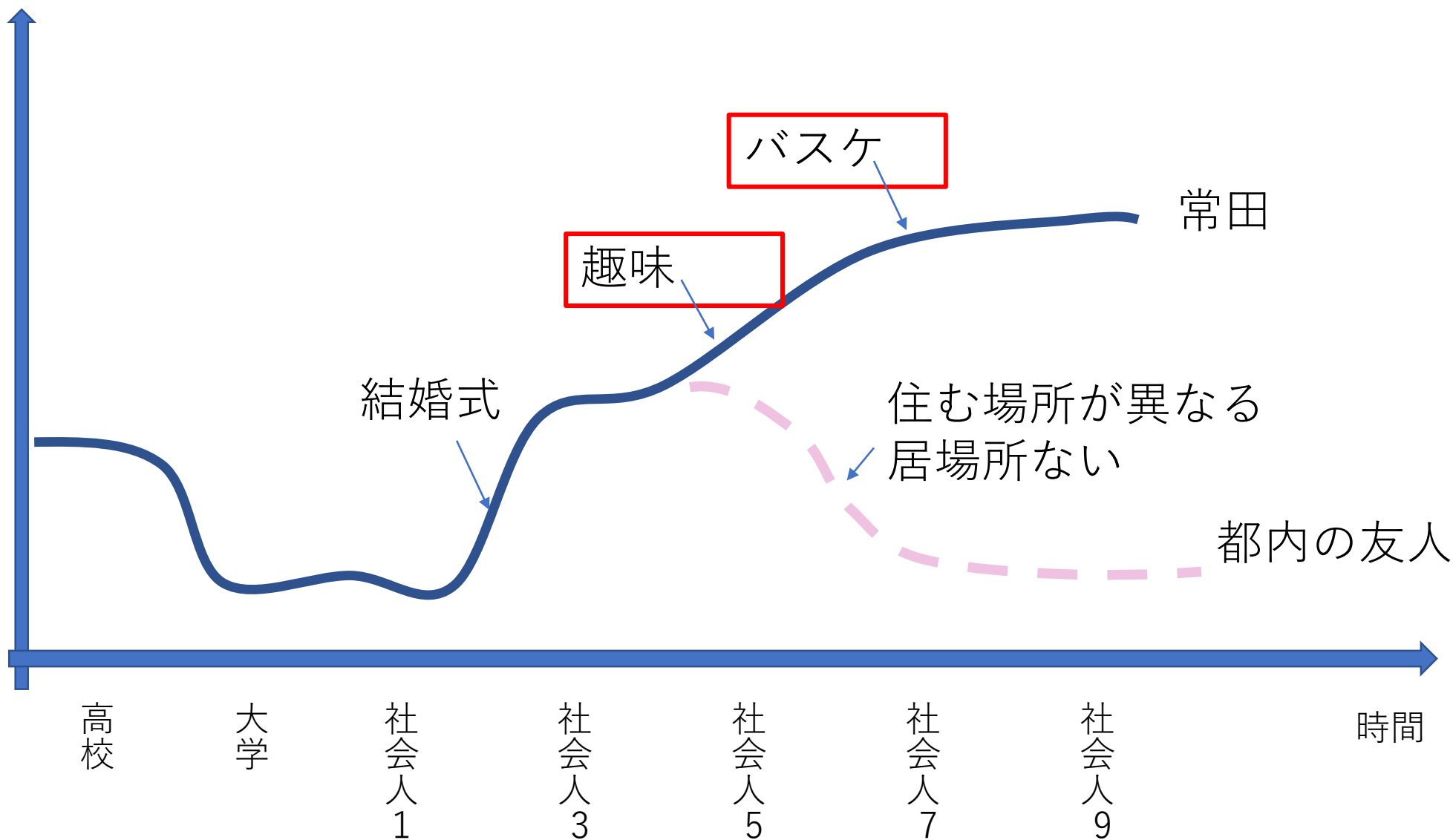
土台を作り出した素人4人



こうなりました。

常田が地元を思う頻度

アイデン
ティティ



写真



佐久穂町で実施したバスケット合宿